

一緒にステップアップ  
していきましょう人事院行政官長期在外研究員  
(米ミシガン大学)

田中 一樹

平成19年入省

## PROFILE

Tanaka kazuki

平成19年10月	総務省採用
	総合通信基盤局電波部電波環境課
平成20年 7月	自治税務局市町村税課
平成22年 7月	総合通信基盤局総務課
平成24年 8月	情報通信国際戦略局国際政策課
平成26年 8月	情報通信国際戦略局国際経済課主査
平成27年 6月	現職

とある  
一週間

## ● 月曜日

政策効果分析の講義と組織マネジメントの講義。予習が大変です。

## ● 火曜日

ミクロ経済の講義と科学政策のセミナー。毎回興味深い内容です。

## ● 水曜日

マネジメント講義でグループワーク。英語での議論は大変です。

## ● 木曜日

授業後、日本語を学ぶアメリカ人の会話サークルへ。

## ● 金曜日

終日、一週間の復習と演習を兼ねたディスカッションクラス。

## 🔊) あらためて勉強中

私は、長期在外研究員制度によりミシガン大学フォード公共政策大学院に派遣いただき、研究に従事しています。

皆様も実感できることと思いますが、情報通信技術は日々の生活への浸透や他産業における活用等、その進歩には目覚ましいものがあります。そして情報通信産業が社会における存在感を増すとともに、それをいかに発展・展開していくべきか、情報通信政策に課せられた役割は大きく、複雑になってきています。そのような業務に携わるにあたり、いかに効率的な行政を行い、政策の効果を検証し、そして次の政策立案につなげるか、このような能力を身につけるべく、様々な政策事例、社会問題等を題材とし、政策分析や組織マネジメント等について学んでいます。

ここフォードスクールは政策分析の分野での評価が高いことから、米国内はもとより世界各国から様々な経歴を持った方が学んでおり、国際的な経験という意味でも刺激的に過ごしております。

## 🔊) 働きながら自らを高める

総務省で働くことを通じて感じた魅力のひとつは、色々な成長の機会があるということです。

まず、総務省の所掌する業務の範囲は広く、同時にそれだけ広い経験をする事ができるチャンスが用意されているといえます。私も情報通信政策のほかに、地方税制の業務に二年間従事させていただきました。まったく異なる業務内容、日本全国の自治体の方々と共に働く機会を通じ、多くのことを学ぶことができました。

またどの部署においても、単に日々の業務だからこらず、という事ではなく、それが社会全体や私たちの日常生活にどのような影響を与えるのか、その業務のために自分に必要なものは何なのか、このような広い視野と高い目的意識を持った方々と出会うことが出来ました。そのような熱意に応えるため、関連した研修等の機会も様々に準備されていると思います。このため、総務省は業務を通じて新しい能力を伸ばせる、そんな魅力的な組織だと思っています。



## Private Time

誇張でも何でもなく土日はほとんど予習と復習で終わってしまうのですが、やりくりをしつつ色々なところに出かけて（いこうと努めて）ます。最近のお気に入り、大学美術館です。近場で手軽に行けるうえに出入り自由、でも規模も収蔵もレベルは高い、言う事なしの娯楽です。